



平成18年11月20日

各位

会社名 株式会社 理研グリーン
 代表者名 代表取締役社長 菊島 昭
 (コード 9992)
 問合せ先 経理部
 役職・氏名 取締役経理部長 中野武久
 電 話 03-3833-6321

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成18年5月26日の決算発表時に公表いたしました平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 中間業績予想数値

(1)平成19年3月期中間連結業績予想の修正等(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位:百万円)

| | 売上高 | 経常利益 | 中間純利益 |
|------------------|-------|--------|-------|
| 前回予想(A) | 5,800 | 130 | 40 |
| 今回修正(B) | 6,067 | 17 | △8 |
| 増減額(B-A) | 267 | △113 | △48 |
| 増減率 | 4.6% | △86.9% | - |
| 前期(平成18年3月期中間)実績 | 5,370 | △1 | △95 |

(2)平成19年3月期中間個別業績予想の修正等(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位:百万円)

| | 売上高 | 経常利益 | 中間純利益 |
|------------------|-------|--------|--------|
| 前回予想(A) | 4,800 | 120 | 40 |
| 今回修正(B) | 5,065 | 39 | 10 |
| 増減額(B-A) | 265 | △81 | △30 |
| 増減率 | 5.5% | △67.5% | △75.0% |
| 前期(平成18年3月期中間)実績 | 4,444 | 94 | 40 |

(3)修正理由

販売競争が激化する中、売上高は、ゴルフ場の総合メンテナンス請負事業の拡大及び完成工事高の増加により伸長いたしました。経常利益及び中間純利益につきましては、販売価格の低落並びに輸入原料の円安と値上げ及び工事施工原価の大幅な上昇等によりコストアップとなり、単独及び連結ともに前回予想を下回る見込みであります。

2. 通期業績予想数値

(1)平成19年3月期通期連結業績予想の修正等(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|----------------|--------|--------|--------|
| 前回予想(A) | 11,400 | 320 | 130 |
| 今回修正(B) | 11,400 | 270 | 90 |
| 増減額(B-A) | 0 | △50 | △40 |
| 増減率 | 0.0% | △15.6% | △30.7% |
| 前期(平成18年3月期)実績 | 11,380 | 249 | △2 |

(2)平成19年3月期通期個別業績予想の修正等(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|----------------|-------|--------|--------|
| 前回予想(A) | 9,600 | 230 | 85 |
| 今回修正(B) | 9,600 | 180 | 50 |
| 増減額(B-A) | 0 | △50 | △35 |
| 増減率 | 0.0% | △21.7% | △41.1% |
| 前期(平成18年3月期)実績 | 9,577 | 209 | 74 |

(3)修正理由

引続き販売競争により厳しい情勢がつづくと思われ、売上高は、秋季緑化関連薬剤資材、産業用薬品の販売及び需要期の公共工事の受注に傾注し、単独及び連結とともに前回予想額を確保できる見込みであります。経常利益及び当期純利益につきましては、冬季散布自社生産殺虫剤の利益品目の販売推進に鋭意努めますが、販売競争による価格の低落及びコストアップ等により単独及び連結ともに前回予想を下回る見込みであります。

(注)上記予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成しておりますが、今後、様々な要因により業績予想とは異なる結果となる可能性がありますことをご承知おき願います。

以上